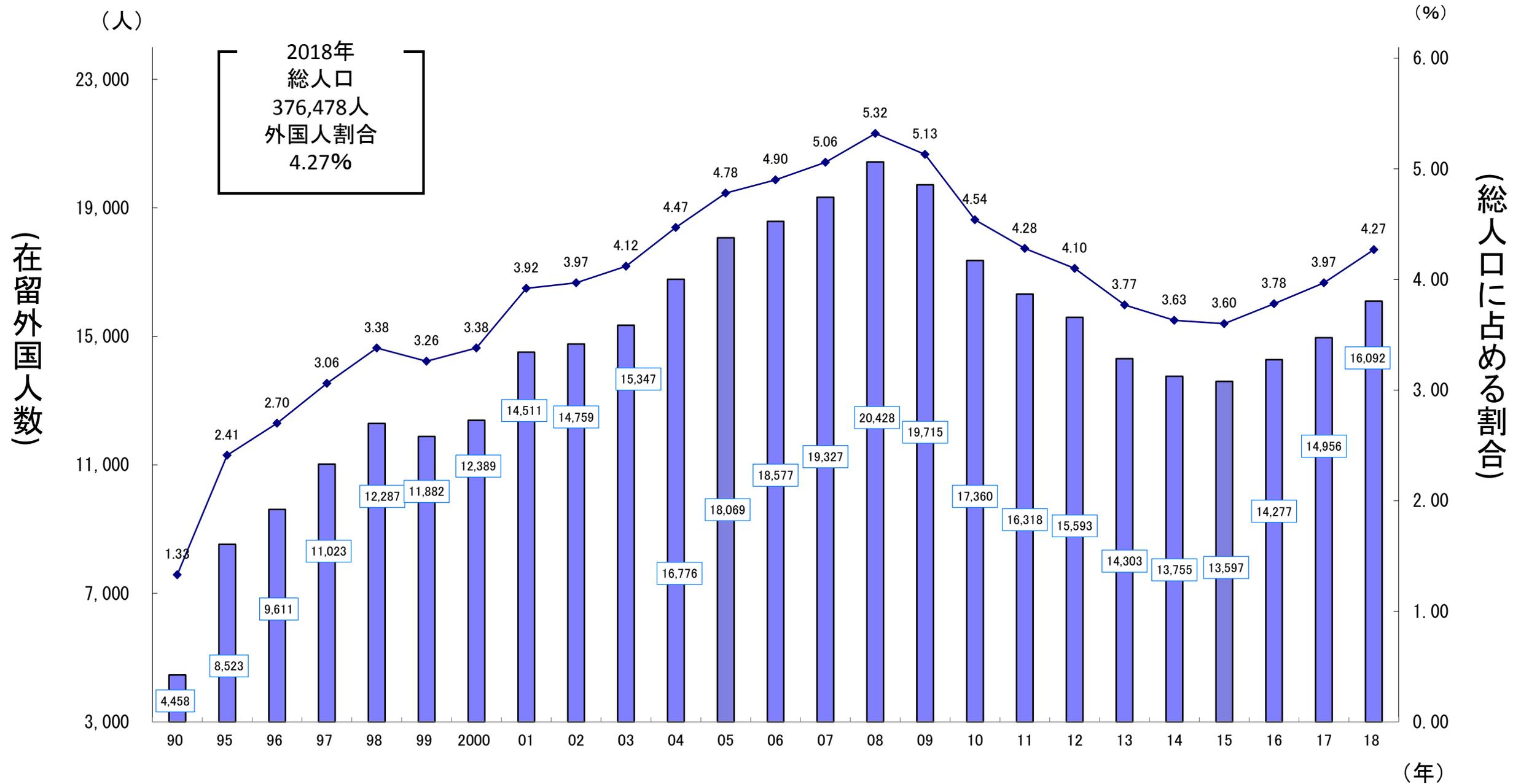


**豊橋市における多文化共生
の取組について
(H30.9.10 ヒアリング結果)**

豊橋市における在留外国人数の推移

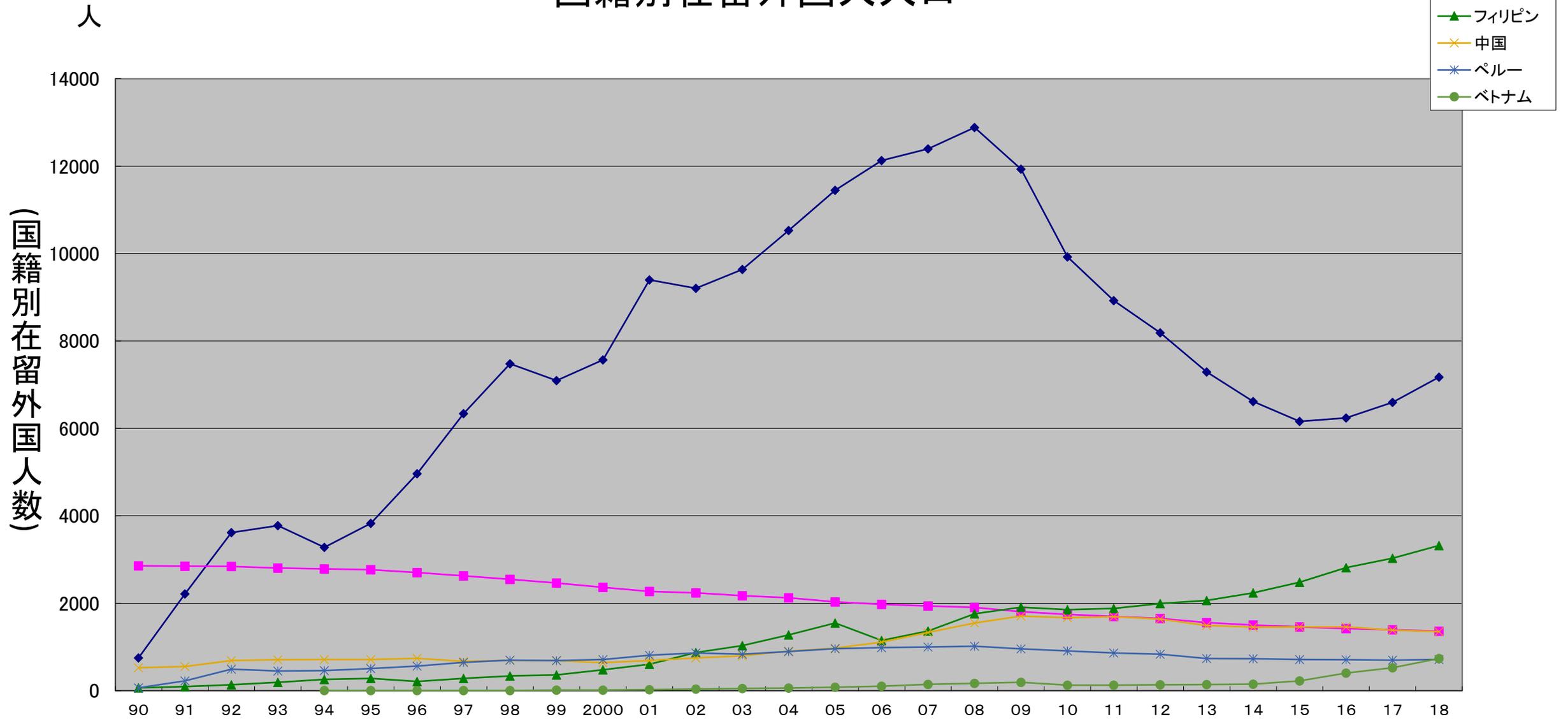


(注) 1 在留外国人数は各年4月1日現在。「総人口に占める割合」は住民基本台帳データによる各年4月1日現在の人口を基に算出。

(注) 2 在留外国人数については2012年までは外国人登録者数、2013年以降は住民基本台帳データより算出。

豊橋市における国籍別在留外国人数の推移

国籍別在留外国人口



(注)1 国籍別外国人については2012年までは外国人登録者数、2013年以降は住民基本台帳データより各年4月1日のデータにて算出。

年

豊橋市における在留資格別人口の推移

平成25年～平成30年にかけて常に永住者・定住者の割合が共に全国平均値よりも10%以上上回る

技能実習の外国人数が平成25年に比べ、平成30年は1.5倍以上

→永住者、定住者の割合が高い

→技能実習での外国人の急増

	特別永住者	永住者	定住者	日本人の配偶者等	永住者の配偶者等	高度専門職	技術・人文知識・国際業務	技能	その他の就労目的の在留資格	留学	技能実習	特定活動	左記以外の在留資格	合計
平成25年 (割合) (全国平均との差)	1399人 (約9.8%) (-8.3%)	6396人 (約44.7%) (13%)	3312人 (約23.2%) (15.4%)	1095人 (約7.7%) (0.9%)	219人 (約1.5%) (0.3%)	—	155人 (約1.1%) (-4.5%)	82人 (約0.6%) (-1%)	104人 (約0.7%) (-2%)	247人 (約1.7%) (-7.6%)	1024人 (約7.2%) (-0.3%)	16人 (約0.1%) (-1%)	254人 (約1.8%) (-4.3%)	14303人
平成26年 (割合) (全国平均との差)	1351人 (約9.8%) (-7.1%)	6074人 (約44.1%) (12.2%)	3239人 (約23.5%) (16%)	1045人 (約7.6%) (0.8%)	234人 (約1.7%) (約0.4%)	—	173人 (約1.3%) (-4.5%)	73人 (約0.5%) (-1.1%)	85人 (約0.6%) (-2.1%)	211人 (約1.5%) (-8.6%)	1046人 (約7.6%) (-0.3%)	17人 (約0.1%) (-1.2%)	230人 (約1.7%) (-4.4%)	13778人
平成27年 (割合) (全国平均との差)	1318人 (約9.7%) (-5.9%)	5976人 (約43.8%) (12.4%)	3182人 (約23.3%) (16.1%)	963人 (約7.1%) (0.8%)	226人 (約1.7%) (0.4%)	0人 (約0%) (-0.1%)	166人 (約1.2%) (-5%)	78人 (約0.6%) (-1.1%)	65人 (約0.5%) (-2.1%)	201人 (約1.5%) (-9.6%)	1202人 (約8.8%) (0.2%)	38人 (約0.3%) (-1.4%)	218人 (約1.6%) (-4.6%)	13633人
平成28年 (割合) (全国平均との差)	1282人 (約8.9%) (-5.3%)	6170人 (約43%) (12.5%)	3321人 (約23.2%) (16.1%)	947人 (約6.6%) (0.8%)	241人 (約1.7%) (0.4%)	1人 (約0%) (-0.2%)	199人 (約1.4%) (-5.4%)	72人 (約0.5%) (-1.2%)	59人 (約0.4%) (-2.3%)	191人 (約1.3%) (-10.3%)	1478人 (約10.3%) (0.7%)	152人 (約1.1%) (-0.9%)	226人 (約1.6%) (-4.9%)	14339人
平成29年 (割合) (全国平均との差)	1253人 (約8.4%) (-4.5%)	6279人 (約41.9%) (12.7%)	3664人 (約24.4%) (17.4%)	941人 (約6.3%) (0.8%)	261人 (約1.7%) (0.3%)	2人 (約0%) (-0.3%)	206人 (約1.4%) (-6%)	68人 (約0.5%) (-1%)	78人 (約0.5%) (-2.2%)	209人 (約1.4%) (-10.8%)	1532人 (約10.2%) (-0.5%)	258人 (約1.7%) (-0.8%)	236人 (約1.6%) (-5.1%)	14987人
平成30年 (割合)	1203人 (約7.5%)	6419人 (約39.9%)	4275人 (約26.6%)	1009人 (約6.3%)	277人 (約1.7%)	1人 (約0%)	243人 (約1.5%)	59人 (約0.4%)	92人 (約0.6%)	244人 (約1.5%)	1690人 (約10.5%)	331人 (約2.1%)	248人 (約1.5%)	16091人

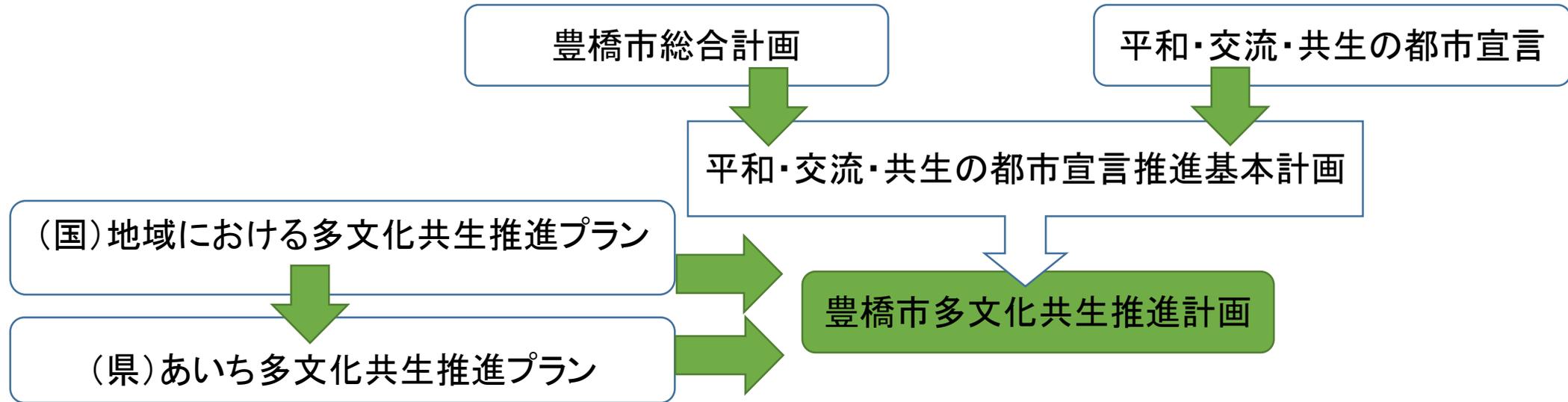
- (注)1 平成27年の入管法改正前の「技術」と「人文知識・国際業務」は、合算した値を「技術・人文知識・国際業務」として入力。
 (注)2 「その他の就労目的の在留資格」欄には、教授、芸術、宗教、報道、経営・管理(投資・経営を含む)、法律・会計業務、医療、研究、教育、企業内転勤、興行の合算値を入力。(外交、公用は除きます)
 (注)3 「左記以外の在留資格」は、文化活動、研修、家族滞在などが該当します。
 (注)4 豊橋市データについては各年4月1日現在、住民基本台帳データより算出
 (注)5 全国平均は各年12月末現在(法務省在留外国人統計)の数値より算出

豊橋市における多文化共生の取組の経過等について

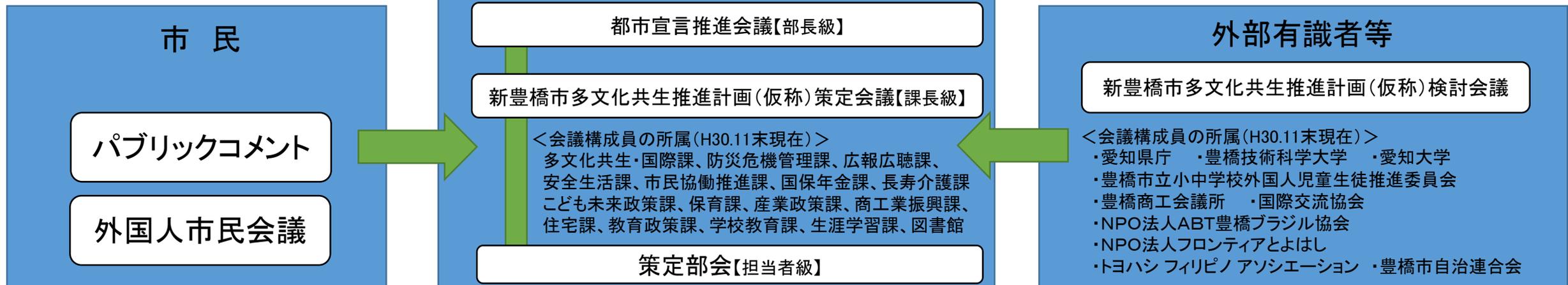
<これまでの経過>

- ・「平和・交流・共生の都市宣言」(2006年)の本旨の実現に向け、2009年に、「平和・交流・共生の都市宣言推進基本計画」を策定し、当該計画における共生分野の具体的な行動計画として、同年に「豊橋市多文化共生推進計画」(計画期間:2009-2013年)を策定
- ・2014年、日系ブラジル人の大幅な減少や外国人市民の多国籍化、定住・永住等在留資格の構成の変化などを踏まえ、「豊橋市多文化共生推進計画2014-2018」を策定

<多文化共生推進計画の位置づけ>



<計画の策定体制>



豊橋市の取組事例① (H30年度関連予算額: 1,448万円)

「行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備」関連の主な取組

①行政・生活情報の多言語化

市役所、市民課隣に外国人情報窓口を設置

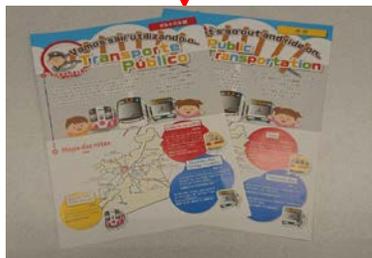
転入外国人を中心に行政情報の提供・説明



窓口対応言語: ポルトガル語(常設)、タガログ語(週2日)
(タガログ語についてはH29より週1日→週2日に増加)

配布資料: ポルトガル語、タガログ語、英語、やさしい日本語

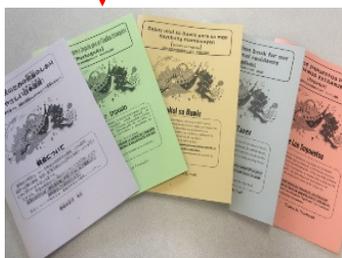
配布



公共交通乗り方案内



納税のしおり



ごみ捨てマニュアル

③外国人相談対応等の充実

＜多文化共生・国際課での外国人相談対応＞

多文化共生・国際課において、ポルトガル語(2名)の通訳者を配置し、行政手続き等の相談に対応。相談対応にあたっては、各課や関係機関とも連携しながら、きめ細かな対応をとっている。その他、英語(1名)、タガログ語(1名)通訳者も各課への手続きや相談時に付き添い、通訳対応を実施。

＜外国人情報窓口の設置＞

初めて来日した外国人や他市から転入した外国人に対して、ポルトガル語や「やさしい日本語」により、ごみ分別や生活上のルール、行政情報などを紹介する窓口を市民課に設置。

＜市営住宅外国人相談＞

住宅課窓口や豊橋市市営住宅管理センターにおいて、ポルトガル語で入居にかかる相談等に対応。

＜豊橋市国際交流協会での外国人相談対応＞

地域在住の日系ブラジル人を対象に、日常生活の困りごとに対応するため、ポルトガル語による各種の相談対応を実施。



②通訳等の配置

・外国人向け相談窓口のほか、外国人対応の多い部署や学校等に通訳等を配置

・通訳が配置されていない場合でも、外国人相談員が同行するなど、安心して市役所を訪れることのできる環境整備を進めている
(平成27年度から新たにタガログ語にも対応)

・現在、41名の通訳等を配置

(平成30年度庁内通訳等配置状況)

納税課	1名【ポルトガル語】	住宅課	1名【ポルトガル語】
多文化共生・国際課(外国人相談員)	2名【ポルトガル語】	市営住宅管理センター	1名【ポルトガル語】
多文化共生・国際課通訳	1名【タガログ語】	市民病院	4名【ポルトガル語、スペイン語、英語】
多文化共生・国際課(国際交流員)	1名【英語】	豊橋高等学校	1名【ポルトガル語】
国保年金課	1名【英語、ポルトガル語、スペイン語】	くすのき特別支援学校	1名【ポルトガル語、スペイン語】
子ども家庭課	1名【ポルトガル語】	公立小中学校	23名【ポルトガル語、スペイン語、タガログ語】
こども保健課	2名【ポルトガル語】	多文化共生・国際課(フローアアシスタント)	1名【ポルトガル語】

豊橋市の取組事例② (H30年度関連予算額: 8, 211万円)

「外国人児童等の学習環境の充実」関連の主な取組

①外国人児童生徒教育相談員等の充実

- 「外国人児童生徒教育相談員」「外国人児童生徒教育スクールアシスタント」「登録バイリンガル」の3種類の支援者を設定し、外国人児童生徒をフォロー
- 市内に外国人児童生徒相談コーナーを設置し、外国人児童生徒教育相談員として、以下を配置
 - ・外国人児童生徒コーディネーター1名(ポルトガル語対応、非常勤嘱託職員)
 - ・日本語教育巡回相談員7名(日本人)
 - ・バイリンガル常駐相談員7名(ポルトガル語5名、タガログ語2名)
 - ・バイリンガル巡回相談員4名(ポルトガル語2名、タガログ語1名、スペイン語1名)
- 巡回相談員は、相談コーナーを拠点に市立小中学校を巡回し、通訳対応や教諭からの相談対応も実施
- 外国人児童生徒の多い市立小中学校には、外国人児童生徒教育スクールアシスタントを5名配置
- そのほか、上記相談員等を補完する形で、登録バイリンガル35名が通訳ボランティアとして活動

②日本語初期支援校「みらい」の実施(平成30年新規事業)

- 来日して間もない外国籍の中学生や外国人学校から市内に編入した生徒たちの日本語指導を集中的に行う初期支援校「みらい」を市立豊岡中学校に設置し、2018年4月9日に開校
- 外国籍生徒は、居住校区に学籍を置きながら、市立豊岡中学校において、週4日間160時間にわたり、日本語の読み書き、会話などを中心に指導を受ける機会を提供
- 指導は、豊岡中学校の教諭2名に加え、ポルトガル語、タガログ語の相談員、教室運営を行うコーディネーターを配置
- 11月末現在、延べ36名の外国籍生徒が活用(うち現在通級中6名)
(内訳 ブラジル:24名、フィリピン:11名、中国:1名)



「みらい」修了式

(参考1)市立小中学校児童生徒数
(平成25年4月現在)

市立小中学校	児童生徒数	うち、外国人児童数
小学校 52校	21, 576名	876名(4. 1%)
中学校 22校	11, 455名	402名(3. 5%)
計	33, 031名	1, 278名(3. 9%)

(平成30年4月現在)

市立小中学校	児童生徒数	うち、外国人児童数
小学校 52校	21, 019名	1, 264名(6. 0%)
中学校 22校	10, 473名	574名(5. 5%)
計	31, 492名	1, 838名(5. 8%)

(参考2)外国人児童の多い市立小学校
(平成25年4月現在)

小学校名	児童数 A	外国人児童数 B(B/A)
多米小学校	736名	116名(15.8%)
岩田小学校	750名	115名(15.3%)
中野小学校	464名	65名(14.0%)
汐田小学校	412名	61名(14.8%)
岩西小学校	496名	56名(11.3%)
飯村小学校	773名	42名(5.4%)

(平成30年4月現在)

小学校名	児童数 A	外国人児童数 B(B/A)
岩田小学校	824名	184名(22.3%)
多米小学校	747名	144名(19.3%)
汐田小学校	484名	99名(20.5%)
飯村小学校	731名	79名(10.8%)
岩西小学校	532名	69名(13.0%)
中野小学校	417名	58名(14.0%)

豊橋市における多文化共生の取組にかかる今後の方向性等について

○現状・課題認識等

- ・これまでの取組などにより、多文化共生に関する市民意識は少しずつ向上
- ・現在では、外国人市民が自治会役員を務めたり、外国人の赤十字救急法指導員が日本で初めて誕生するなど、外国人市民が外国人市民のために活躍できる土壌が育ちつつある
- ・外国人市民を「支援される側」としてだけとらえるのではなく、「支援する側」でもあるという視点を持ち、外国人市民の持つ個性が発揮できる環境づくりが重要
- ・こうした取組を拡げていくためには、行政だけでなく、NPO等の民間レベルの取組も支援していく必要がある

○今後の方向性

- ・外国人市民の永住化の進展や国の外国人受入れ施策の拡大による外国人市民の多国籍化により、外国人市民の支援ニーズがより多様化することが想定
- ・これまでの取組みを充実させ、多様な支援ニーズに対応するとともに、外国人市民が活躍できる環境整備をすすめていく
- ・また、外国人市民の自立と活躍をより一層促進するよう、乳幼児期から老年期までのライフステージごとのターゲットを見据え、各ステージで切れ目のない施策を実施していく

○多文化共生推進計画の改定に向けた動き

- ・平成30年5月より、上記の方向性を盛り込んだ新多文化共生推進計画の改定作業を開始
- ・年明けのパブリックコメントを経て、平成31年3月に公表予定